

第 1 回日産財団リカジョ賞

テーマ	～STEM 人材への近道、AI と IT を身近に体験できる「課題解決型ロボットプログラミング教室」～ 「ロボットが活躍する未来型キャリアに命を吹き込むのは女子」 プログラミング体験はリカジョへの一石三鳥の科学		
所属機関	一般社団法人 横浜 すぱいす	役職 氏名	理事 プログラミング教育支援事業 古川 三千代

研究大要	<p>2020 年度の小学校でのプログラミング教育必修化に向けプログラミング教材、プログラミング教室など「プログラミング」が溢れ、保護者や教員たちに不安を与えている側面がある。10 年後には現在ある職の半数近くでロボットが人に代わり、職業が無くなると言われている。未来を創る子どもらはロボットとの共生が必然となる。プログラミング教育を実践する中で小学生には興味関心に男女の性差がないことと、生活に役立つアイデアをリードするのはジョシが多いことを実感した。「ロボットプログラミング教育」は学びたい心に火を点け、仲間との協働、チャレンジ、失敗が成功へ導くカギになる等一石三鳥以上の成果にできる。学校関係者へは世の中のロボット活用、AI との共生の速度が予想よりも驚異的に早くなっているが、学校のネット環境等はセキュリティの課題があるとしても、学びの環境としては最低レベルであることを啓発したい。学校の不易を生かすことがロボットや AI との共生社会を魅力的にする原動力であることを再確認すると共に、教科指導の多くはロボットや AI が得意とする分野であることも共有したい。リカジョは花から AI まで人生 100 年の毎日が楽しいロールモデルになれる。</p>
------	--

	<p>5 年次 ブロックで作ったモノがプログラミングで動くことを発見！課題解決ロボット</p>		<p>6 年次 ブロックに他のモノをプラスして、プログラミングも複雑にアイデア豊かに改善点も考え発表できる成長。経験は強みになる。自転車と同じ。</p>
	<p>6 年次 PC とタブレットでセンサーを複数使用して音も画像もアクチュエーター自由自在</p>	<p>習うよりも慣れる！短時間で取得、柔軟さに脱帽！ プログラミングから AI,IOT までのきっかけを与えるのは今！</p> 	